

## 第3回メモリアルグリーン指定管理者選定委員会議事録

### ■ 日 時

平成18年3月16日(木) 午後4時20分から5時30分まで

### ■ 場 所

関内ホール 青少年育成センター会議室

### ■ 出席者等

(1)メモリアルグリーン指定管理者選定委員 5名

伊部委員長、前田副委員長、金子委員、田村委員、横田委員

(2)事務局

野村生活衛生部長、島田新墓園整備担当課長 外5名

### ■ 議事内容

#### 1 開 会

#### 2 議 事

##### (1) 応募者の資格について

事務局からB団体が公募要項6(1)ウの要件を確認できる書類の提出がなく、応募資格を満たしていないことを報告。

##### (2) 評価の考え方についての意見交換

各委員が評価表を作成する上で、前回のヒアリングを踏まえた評価の考え方について、意見交換を行った。

D団体の指定管理経費の提案内容が自主事業の収支を含めて、上限額の範囲内になっており、その取り扱いについて議論した。

自主事業は不確定な部分があること、積算が明示されていないので不明確であること、等が懸念されるが、第2回のヒアリングでは諸経費で安全率を見ているとの回答もあり、これらの認識の下各委員が採点し、議論することとした。

##### (3) 応募者の評価表作成

応募資格を満たさなかった1団体を除く3団体の評価表を各委員が作成し事務局で一覧表に取りまとめた。

##### (4) 優先交渉権者・次点交渉権者の選定

委員長から、集計結果について報告、総合点ではC団体、D団体、A団体の順となっており、この結果に対し各委員の意見を求めた。

・各委員の専門分野が違うので、評価ポイントに若干の相違点が生じているが、基本的な考え方などは、それぞれ同じような高い点が出て、運営面である程度、評価に開きが出ているが、妥当な範囲かと思われる。

・C法人が優先交渉権者となる場合、自主事業規模が大きいことから、事業内容について

て横浜市との協議をしっかりとお願いしたいこと、墓地の運営経験がないことから、しっかりと準備をしていただきたい。

・各委員ごとの得点では、D団体を一番高い得点とした委員が多かったが、総合的な評価の観点から、総合得点が最も高い団体から順に選定するという、選定基準の原則に従ってC団体から順に選定することとする。

・以上の議論から、評価表の総合点結果から優先交渉権者、次点交渉権者を定めることとし、

◎優先交渉権者に「清光社・奈良造園土木 共同事業体」、次点交渉権者に「財団法人横浜市緑の協会」を選定した。

#### (5) 選定結果報告について

選定報告書の文案については、委員長に一任し、各委員の確認のうえ、提出することとした。